タイムロゴ・ジェネレーター TLG-70V用
設定アプリケーション

TLG-70VPV

TIME&LOGO GENERATOR
SETUP APPLICATION

取扱説明書

このたびは、ビデオトロン製品をお買い上げいただきありがとうございました。
安全に正しくお使いいただくため、ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

VIDEOTRON®

この製品を安全にご使用いただくために

警告

誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

1）電源プラグ、コードは

・定格で定められた電源以外は使用しないでください。

・差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。

・濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。

・抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。

・電源コードは巻かずに、伸ばして使用してください。

・電源コードの上に重い物を載せないでください。

・機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にし、電源プラグを抜いてから行ってください。

2）本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

・すぐに電源スイッチを切ってください。電源スイッチのない機械の場合は、電源プラグを抜くなどして電源の供給を停止してください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザー等による警報がある場合にもすぐに電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。

・空調設備を確認してください。

・しばらくの間機械に触れないでください。冷却ファンの停止などにより異常発熱している場合があります。

・機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり異常発熱の原因になります。

・消火器の設置をお勧めします。緊急の場合に取り扱えるようにしてください。

3）修理等は、弊社サービスにお任せください

・感電・故障・発火・異常発熱などの原因になりますので、弊社サービスマン以外は分解・修理などを行わないでください。

・故障の場合は、弊社　サポートセンターへご連絡ください。

4）その他

・長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。

・質量のある機械は一人で持たず、複数人でしっかりと持ってください。転倒や機械の落下によりけがの原因になります。

・冷却ファンが回っている時はファンに触れないでください。ファン交換などは必ず電源を切り、停止していることを確かめてから行ってください。

・車載して使用する場合は、より確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。

・ラックマウントおよびラックの固定はしっかりと行ってください。地震などの災害時に危険です。

・機械内部に異物が入らないようにしてください。感電・故障・発火の原因になります。

注意

誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

1）機械の持ち運びに注意してください

・落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。
　また、足元に落としたりしますとけがの原因になります。

2）外部記憶メディア対応の製品では

・規格に合わないメディアの使用はドライブ・コネクタの故障の原因になります。
　マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。

・強い磁場がかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データに影響を及ぼす場合があります。

・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。

・大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

●定期的なお手入れをおすすめします

・ほこりや異物等の浸入により接触不良や部品の故障が発生します。

・お手入れの際は必ず電源を切り、電源プラグを抜いてから行ってください。
　また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。
　安心してご使用していただくために定期的な（5年に一度）オーバーホール点検をおすすめします。
　期間、費用等につきましては弊社　サポートセンターまでお問い合わせください。

※上記現象以外でも故障かなと思われた場合やご不明な点がありましたら、弊社　サポートセンターまでご連絡ください。

保証規定

① 本製品の保証期間は、お買い上げ日より1年間とさせていただきます。
なお、保証期間内であっても次の項目に該当する場合は有償修理となります。

(1)ご利用者様での、輸送、移動、落下時に生じた製品破損、損傷、不具合。

(2)適切でない取り扱いにより生じた製品破損、損傷、不具合。

(3)火災、天災、設備異常、供給電圧の異常、不適切な信号入力などにより生じた破損、損傷、不具合。

(4)当社製品以外の機器が起因して当社製品に生じた破損、損傷、不具合。

(5)当社以外で修理、調整、改造が行われている場合、またその結果生じた破損、損傷、不具合。

② 保証は日本国内においてのみ有効です。【This Warranty is valid only in Japan.】

③ 修理責任免責事項について

当社の製品におきまして、有償無償期間に関わらず出来る限りご依頼に沿える修理対応を旨としておりますが、以下の項目に該当する場合はやむをえず修理対応をお断りさせていただく場合がございます。

(1)生産終了より7年以上経過した製品、及び製造から10年以上経過し、機器の信頼性が著しく低下した製品。

(2)交換の必要な保守部品が製造中止により入手不可能となり在庫もない場合。

(3)修理費の総額が製品価格を上回る場合。

(4)落雷、火災、水害、冠水、天災などによる破損、損傷で、修理後の恒久的な信頼性を保証出来ない場合。

④ アプリケーションソフトについて

(1)製品に付属しているアプリケーションは、上記規定に準じます。

(2)アプリケーション単体で販売している場合は、販売終了より3年経過した時点で、サポートを終了いたします。

※紙の保証書は廃止し、製品のシリアル番号で保証期間内外の判断をさせていただいております。

何卒、ご理解の程よろしくお願いいたします

目 次

この製品を安全にご使用いただくために I
保証規定 III
1. 概　説 1
　《特　長》 1
2. アプリケーション仕様 2
　1. 製品構成 2
　2. アプリケーション動作環境条件 2
　2. アプリケーション対応静止画フォーマット(静止画、アニメーション、アナログ時計) 2
　3. アプリケーション対応静止画フォーマット(背景) 2
　4. 連番名称規約 3
　5. FILL/KEY ペア名称規約(背景以外の JPEG ファイルのみ) 3
3. インストール、アンインストール 4
　1. TLG70VPV をインストール 4
　2. TLG70VPV をアンインストール 4
4. 機能チェック 5
　1. 接　続 5
　2. POWER ON までの手順 5
　3. TLG-70V 本体との接続について 5
5. 各ウィンドウの機能説明 6
　1. メインウィンドウ 6
　2. 接続先選択ダイアログ 8
　3. 接続先設定ダイアログ 9
　4. 接続先登録・編集ダイアログ 10
　5. スロット選択ダイアログ 11
　6. 素材選択ダイアログ 12
　7. オプション設定ダイアログ 13
　8. 画面構成要素ツリー 14
　9. プロパティウィンドウ 15
　9-1. 配置 15
　9-2. 時計 19
　9-3. 日付 23
　9-4. 静止画 25
　9-5. アニメーション 25
　9-6. フォント 26
　9-7. 自動送出設定 26
　9-8. 本体設定 28
　9-9. アプリ設定 30
6. トラブルシューティング 31

1. 概　説

本製品は、TLG-70V の各種設定や静止画/連番静止画（アニメーション）ファイルを LAN 経由で登録する TLG-70V の付属アプリケーションです。

また TLG-70V の設定情報を取得し、簡易的なプレビューを行うことができます。

《特　長》

- 静止画や連番静止画（アニメーション）ファイルを TLG-70V に素材として登録可能
- 素材のアップロード、ダウンロードが可能
- 素材や設定をプレビューで確認可能 ※

※ 簡易的なビューアー機能の為、ご使用になる PC 環境によってはスムーズに動作しない可能性もあります。

2. アプリケーション仕様

1. 製品構成

番号	品　名	型名・規格	数量	備考
1	アプリケーションCD	TLG70VPVアプリケーション CD-ROM	1	・TLG70VPVアプリケーション ・取扱説明書(PDF版)

※取扱説明書はアプリケーションCDのDocumentフォルダー内にPDFファイルで格納されています。

2. アプリケーション動作環境条件

・OS	Windows7 Home Premium/Professional/Ultimate日本語版(32/64bit版) Windows8.1 Windows10 Windows11
・CPU	Intel® 1.3GHzクラスのプロセッサを搭載したパーソナルコンピューター (Core™ 2 Duo 2.0GHz以上を推奨)
・メモリ	256MBのRAM (1GB以上を推奨)
・ディスプレイ	カラー表示が可能なグラフィックアクセラレーターおよびディスプレイ (解像度:1280×1024ピクセル以上を推奨)
・カラー	32ビットカラーモード(必須)
・ハードディスクまたは SSD	インストール時に500MB以上の空き容量が必要
・LAN	RJ-45端子(1000BASE-T推奨)

2. アプリケーション対応静止画フォーマット(静止画、アニメーション、アナログ時計)

ファイル形式		備考
JPEG	YCbCr、ベースライン	プログレッシヴ JPEG 及びロスレス JPEG は非対応
TARGA	非圧縮/RLE 圧縮 RGB、RGBα	背景では非対応
TIFF	非圧縮 RGB、RGBα	マルチページ TIFF には非対応

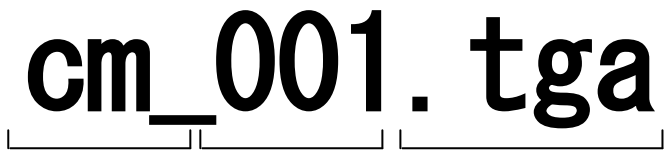
3. アプリケーション対応静止画フォーマット(背景)

ファイル形式		備考
JPEG	YCbCr、ベースライン	プログレッシヴ JPEG 及びロスレス JPEG は非対応
TIFF	非圧縮 RGB、RGBα	マルチページ TIFF には非対応
BMP	汎用フォーマット	32 ビットは非対応
GIF	汎用フォーマット	アニメーション GIF は非対応
PNG	汎用フォーマット	VPNG は非対応

4. 連番名称規約

アプリケーションで対応している連番名称規約は以下のとおりです。

“文字列” + “連番番号” + 拡張子



(1) 文字列は任意で、固定の名称とする。

(2) 連番番号は桁数に特に制限はなく、ゼロパディング(上位桁をゼロで埋める)表現とすること。

(3) 連番番号の桁数が同一であり、ファイル名の連番番号以外の部分が同一であること。

(4) それぞれの連番ファイルは、同一の解像度であること。

以下にファイル名の例を示します。

例1:ファイル名が“ニュースタイトル0001.TGA”と“ニュースタイトル0002.TGA”

上記例は連番名称規約に従っている為、2フレームの動画として評価されます。

例2:ファイル名が“ニュースタイトル0001.TGA”と“ニュースタイトル002.TGA”

上記例はそれぞれの連番桁数が異なっている為、それぞれ静止画として評価されます。

例3:ファイル名が“ニュースタイトル0001.TGA”と“タイトルニュース0002.TGA”

上記例はそれぞれの連番番号以外の部分が異なっている為、それぞれ静止画として評価されます。

5. FILL/KEY ペア名称規約(背景以外の JPEG ファイルのみ)

アプリケーションで対応しているFILL/KEYペア名称規約は以下のとおりです。

(1) ファイル名の拡張子以前(連番ファイルの場合は連番番号以前)の部分の末尾が
「_F」「_K」のいずれかであること(大小文字の区別なし)。
→「_F」…FILLファイル
→「_K」…KEYファイル

(2) “_”(アンダーバー)より前の部分が同じ名称のファイルが2つ以上存在すること。

(3) ペアとなるファイルは、双方共に同じ解像度であること。

上記以外のファイルはFILLのみの静止画ファイルとして認識します。

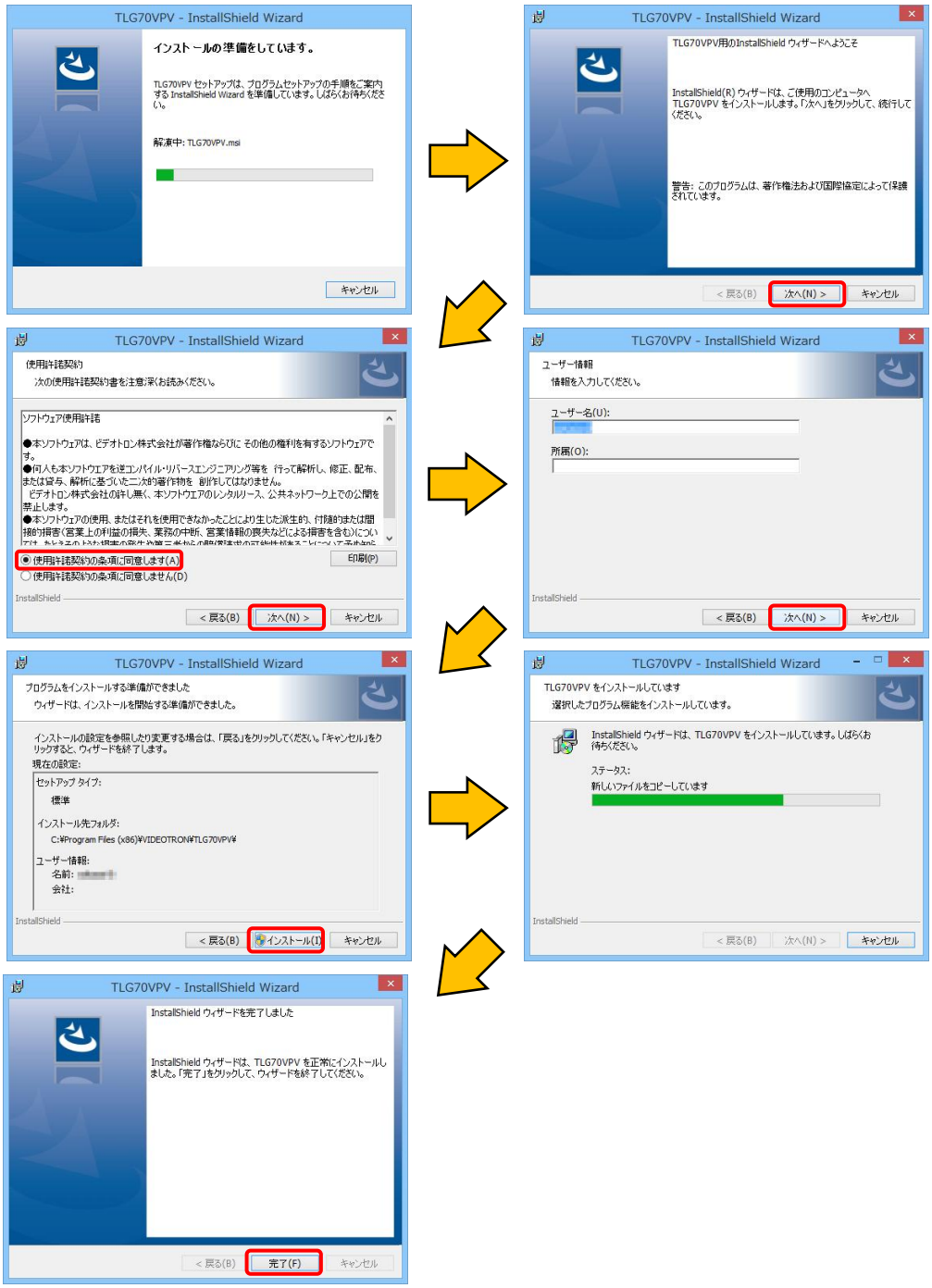
3. インストール、アンインストール

1. TLG70VPV をインストール

TLG70VPVのインストールは、以下の手順で行います。

(1)インストール CD にあるファイル「setup.exe」をダブルクリックしてください。

(2)画面上には次のようなダイアログが順番に表示されます。丸印のついた場所をクリックして
インストールを進めてください。



2. TLG70VPV をアンインストール

コントロールパネルの「プログラムと機能」から「TLG70VPV」を選択し削除を行います。

4. 機能チェック

1. 接　続

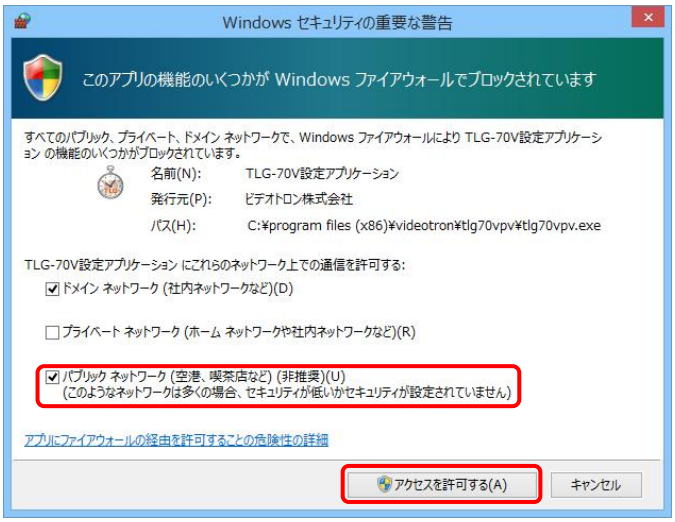
接続先となるTLG-70VC(ホスト)をネットワークでPC(ローカル)と接続します。
LANケーブルはHUBを使用する場合はストレートケーブルを使用し直接接続する場合はクロスケーブルを使用します。
TLG-70VCのネットワーク設定方法等は別紙「TLG-70V取扱説明書」を参照してください。
※ 注意！！ VBUS筐体シリーズに付いているLANとPCの接続ではTLG-70Vと通信を行うことができません。必ずTLG-70VCの背面ボードのLANと接続してください。

2. POWER ON までの手順

以下の操作は、アプリケーションがインストールされている状態から行います。
インストールが済んでいない場合は「**3. インストール**」を参照の上、インストールを行ってください。

(1) PC(ローカル)と接続先のTLG-70VC(ホスト)がLANで接続されていることを確認します。
(2) VBUS筐体の電源を投入しTLG-70V(ホスト)を起動します。
(3) PCを起動しWindowsにログインします。
(4) デスクトップ上の「TLG70VPV」アイコン、または
Windows7の場合スタートメニューから[すべてのプログラム]-[VIDEOTRON]-[TLG70VPV]-[TLG70VPV]、
Windows8.1の場合スタート[アプリ]-[VIDEOTRON]-[TLG70VPV]を選択しアプリケーションを起動します。
Windows10の場合スタートメニュー内アプリ一覧[VIDEOTRON]-[TLG70VPV]を選択しアプリケーションを起動します。

※ 注意！！ アプリケーションをインストールして初めてTLG-70Vと接続する時やファイアーウォールの設定をデフォルトに戻した時に、以下のウィンドウが表示されることがあります。その場合は次のように操作してください。



もし、画面内の「パブリップネットワーク」項目がチェックされていない場合、チェックをし「アクセスを許可する(A)」を選択してください。

3. TLG-70V 本体との接続について

TLG-70V設定アプリケーションとTLG-70Vの接続、または接続中における動作条件は次のとおりです。
・TLG-70Vの起動中(映像が何も出力されていない状態)は、TLG-70V設定アプリケーションとの接続を行うことができません。

5. 各ウィンドウの機能説明

1. メインウィンドウ

①メニューバー およびツールバー

ファイルの保存や接続設定、その他の機能を実行する時に使用します。

メニュー	アイテム 1	アイテム 2	アイコン	機能
ファイル	新規作成			TLG-70V 設定を新規に作成します。
	開く			TLG-70V 設定ファイルを読み込みます。
	閉じる			TLG-70V 設定を閉じます。
	上書き保存			現在編集中の TLG-70V 設定をファイルとして上書き保存します。
	名前を付けて保存			現在編集中のTLG-70V設定をファイルとして別名で保存します。
	ネットワーク	TLG-70V へ接続		接続先設定で登録した TLG-70V へ接続します。 接続先選択ダイアログを開きます。(P-8)
		クイック接続		デフォルト登録した接続先へ直ちに接続します。 接続が成功すると、スロット選択ダイアログを開きます。(P-11)
		切断		現在接続中の TLG-70V との通信を切断します。
		接続先設定		接続先の登録、編集等を行う接続先設定ダイアログを開きます。 (P-9)
		アップロード		現在の設定をアップロードし、TLG-70V に反映します。 素材選択ダイアログを開きます。(P-12)
		ダウンロード		TLG-70V の設定をダウンロードし、プレビュー上に反映します。 素材選択ダイアログを開きます。(P-12)
		スロット変更		接続先のスロット番号を変更します。 スロット選択ダイアログを開きます。(P-11)
	印刷			プレビュー内容の印刷を行います。 現在この機能は実装されていません。
	プレビュー			印刷内容のプレビューを行います。 現在この機能は実装されていません。
	プリンターの設定			プリンターの設定を行います。
	アプリケーションの 終了			アプリケーションを終了します 。

編集	コピー			選択中の設定をクリップボードにコピーします。
	貼り付け			クリップボードの内容を選択した設定に貼り付けます。
	アップロード			編集中のデータを TLG-70V へアップロードします。
	ダウンロード			TLG-70V のデータをダウンロードします。
	インポート			設定ファイルを選択している設定に適用します。
	エクスポート			選択している設定をファイルに保存します。
表示	ツールバーと ドッキングウィンドウ			ツールバーや各種ウィンドウの表示/非表示を切り替えます。
	ステータスバー			ステータスバーの表示/非表示を切り替えます。
	アプリケーションの外観			外観を各種 Microsoft 製アプリケーションの各種スタイルに変更します。
	分割			要素プレビュー、パターンプレビュー間の境界線を調整します。
	αチャネル表示			αチャネルイメージをプレビューに表示します。
	背景画像表示			背景画像をプレビューに表示します。(P-30)
ツール	オプション			オプション設定ダイアログを開きます。(P-13)
ヘルプ	バージョン情報			本アプリケーションのバージョン情報を表示します。

②画面構成要素ツリー

TLG-70V を使用するうえで必要な設定の内容がツリー上に表示されています。
各項目をダブルクリックすると、設定内容がプロパティウィンドウおよびプレビューに表示されます。(P-16)

③要素プレビュー

画面構成要素ツリーの時計、日付、静止画、アニメーションの設定をダブルクリックした際、そのプレビューが表示されます。

④パターンプレビュー

現在選択している配置設定のプレビューが表示されます。

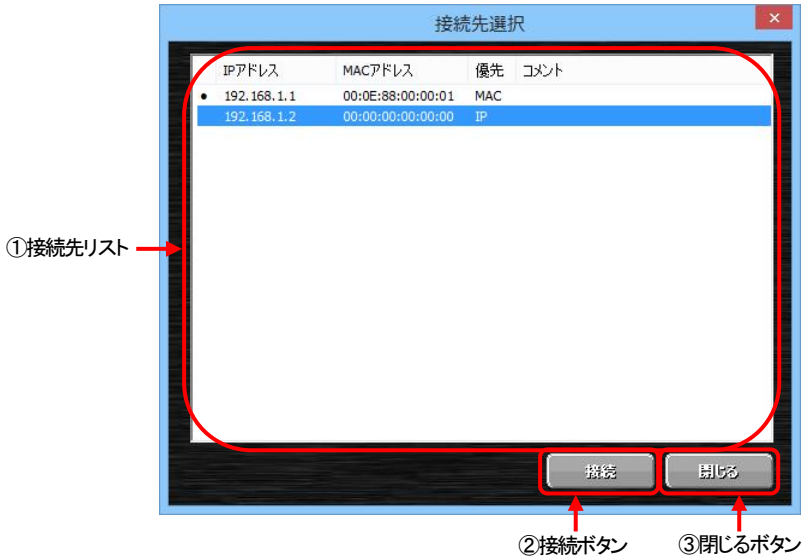
⑤プロパティ

画面構成要素ツリーの各項目をダブルクリックした際、その設定内容が表示されます。
ここで各種パラメータを変更すると、各プレビュー表示にも反映されます。

⑥ステータスバー

現在のアプリケーションの状態や、選択している項目の簡単な説明を表示します。

2. 接続先選択ダイアログ



①接続先リスト

接続先設定で登録した TLG-70VC のリストが表示されます。
一番左の項目に「●」の表示があるものは、デフォルト設定に指定されていることを意味します。
デフォルト設定は、クイック接続(P-6)で自動的に選択・接続されます。

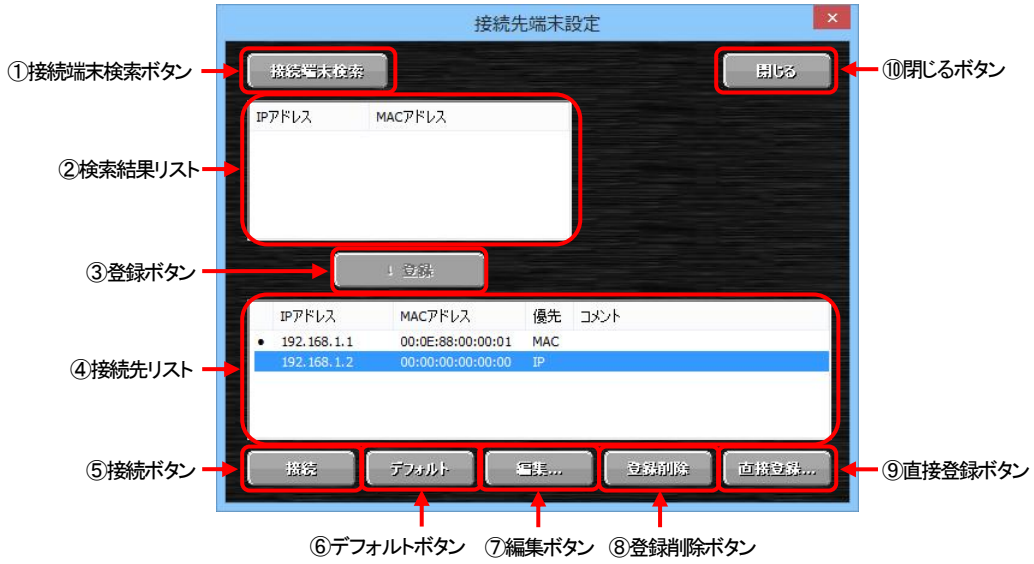
②接続ボタン

接続先リストで選択した TLG-70VC へ接続を行います。
接続が成功すると、スロット選択ダイアログを開きます。(P-11)

③閉じるボタン

接続を行わず、ダイアログを閉じます。

3. 接続先設定ダイアログ



①接続端末検索ボタン

ネットワーク内に存在する TLG-70VC を検索します。検索した結果は、すぐ下の検索結果リストに表示されます。

②検索結果リスト

接続端末検索の結果、見つかった TLG-70VC を表示します。

③登録ボタン

検索結果リストで選択した TLG-70VC を、接続先リストに登録します。

④接続先リスト

登録してある TLG-70VC のリストが表示されます。一番左の項目に「●」の表示があるものは、デフォルト端末に指定されていることを意味します。デフォルト端末は、クイック接続(P-6)で自動的に選択・接続されます。

⑤接続ボタン

接続先リストで選択した TLG-70VC へ接続を行います。接続が成功すると、スロット選択ダイアログを開きます。(→P-11)

⑥デフォルトボタン

接続先リストで選択した TLG-70VC を、デフォルト端末に指定します。デフォルト設定は、クイック接続(P-7)で自動的に選択・接続されます。

⑦編集ボタン

接続先リストで選択した TLG-70VC の接続設定を変更します。接続先登録・編集ダイアログが開きます。(P-10)

⑧登録削除ボタン

接続先リストで選択した TLG-70VC の接続設定を削除します。

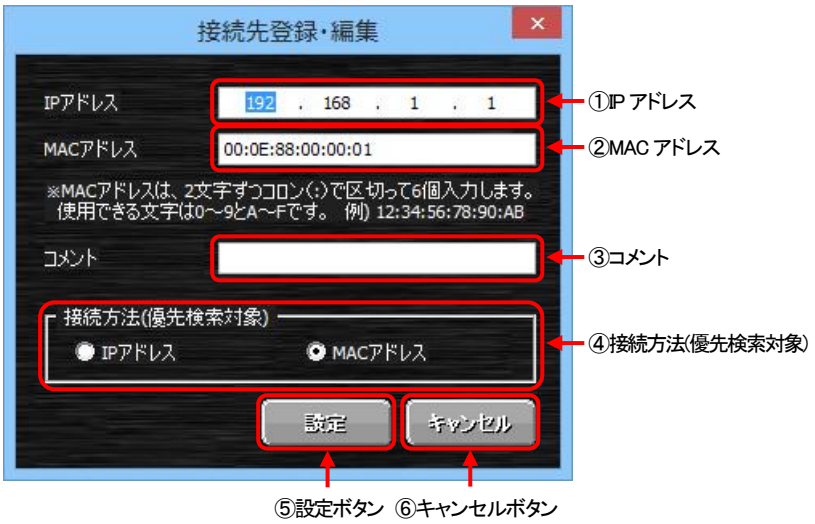
⑨直接登録ボタン

接続端末検索をせずに、TLG-70VC の IP アドレスまたは MAC アドレスを直接入力して接続先リストに登録します。接続先登録・編集ダイアログが開きます。(P-10)

⑩閉じるボタン

ダイアログを閉じます。

4. 接続先登録・編集ダイアログ



①IP アドレス

接続先の TLG-70VC の IP アドレスを指定します。

②MAC アドレス

接続先の TLG-70VC の IP アドレスを指定します。MAC アドレスは、2 文字ずつコロンで区切って 6 個入力します。使用できる文字は、0～9 と A～F（大文字小文字区別なし）です。

③コメント

接続先の TLG-70VC のメモを指定します。（例：地上波用）コメントは、入力しなくても問題ありません。

④接続方法（優先検索対象）

ネットワーク内の TLG-70VC を検索する際に、IP アドレスと MAC アドレスのどちらを優先的に検索するかを指定します。

⑤設定ボタン

入力内容を保存し、ダイアログを閉じます。

⑥キャンセルボタン

入力内容を破棄し、ダイアログを閉じます。

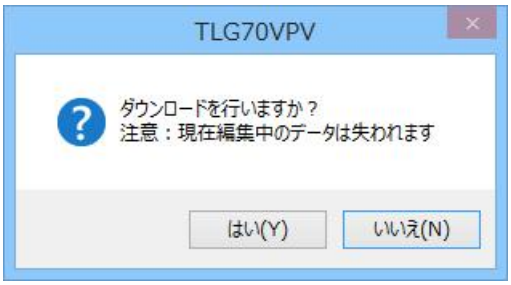
5. スロット選択ダイアログ

①スロット番号選択

接続先の筐体内に実装されている TLG-70V のスロット番号、名称が表示されます。
接続をするスロット番号を選択してください。

②接続ボタン

選択したスロット番号の TLG-70V に対して接続を行います。
接続完了の後、TLG-70V の素材や設定をダウンロードするかしないかの確認画面が表示されます。



確認画面内の[はい(Y)]ボタンを選択すると接続した上で素材選択ダイアログ(P-14)が表示され、
指定した素材や設定をダウンロードすることができます。
[いいえ(N)]ボタンを選択すると接続はしますが、ダウンロードはキャンセルされます。
※ ダウンロードを行うと、現在編集中のデータは失われますのでご注意ください。
※ TLG-70V が起動中の場合、ダウンロードを行うことはできません。

③キャンセル

TLG-70V の接続をキャンセルします。

6. 素材選択ダイアログ

①素材選択チェックボックス

素材のアップロード/ダウンロードを行うかどうかを選択します。
チェックしていない素材のグループは、アップロード/ダウンロードは行われません。

②素材リスト

各グループ内の、登録されている素材名が表示されます。クリックすると、選択と非選択が入れ替わります。
チェックしている素材の中で、個別にアップロード/ダウンロードの実行を選択することができます。

③本体設定チェックボックス

本体設定のアップロード/ダウンロードを行うかどうかを選択します。

④自動送出設定チェックボックス

自動送出設定のアップロード/ダウンロードを行うかどうかを選択します。

⑤実行ボタン

アップロード/ダウンロードを実行します。
※ アニメーションのアップロード/ダウンロードは、フレーム数によっては最大約 90 分程度かかります。
※ アニメーション等の素材をアップロードしたあとは、再レンダリングに最大 10 分程度かかります。

⑥キャンセルボタン

アップロード/ダウンロードの実行をキャンセルします。

⑦素材を選択せず実行ボタン

素材を何も選択していない状態でアップロード/ダウンロードを実行します。

7. オプション設定ダイアログ

①素材保存先

素材を保存するフォルダーへのパスが表示されます。

②表示ボタン

このボタンを押すと、保存先フォルダーの内容を表示します。

③配置設定の選択変更時、TLG-70V 本体の映像出力に反映させるチェック

このチェックボックスが ON のとき、TLG-70V 本体と接続中に配置設定の選択を変更すると、本体も指定された配置設定の画面番号に追従します。

※注意！！　本体設定の外部制御「制御方式」が自動送出、またはレベル送出の場合、追従は行いません。

④OK ボタン

設定を適用し、ダイアログを閉じます。

⑤キャンセルボタン

設定を破棄し、ダイアログを閉じます。

8. 画面構成要素ツリー

TLG-70Vにおける設定のグループ一覧を表示します。
設定項目をダブルクリックで選択すると項目に応じた設定内容がプロパティウィンドウに表示されます。
また、右クリックで各項目のコピー/貼り付け/インポート/エクスポートを行うことができます。

No.	項目名	内容	参照頁
1	配置	各パーツの表示に関する設定(画面設定)です。 ここの設定によるパーツ配置が映像として出力されます。 **※注意！！　本体設定の外部制御「制御方式」が自動送出、またはレベル送出の場合、映像出力の反映はされません。** ツリー展開すると配下に32個分の設定が表示されます。 さらにその配下には配置設定で使用されるパーツの一覧が表示されます。	15
2	パーツ	配置設定を構成する要素(時計/日付/静止画/アニメーション/フォント)の総称です。	-
3	時計	時計表示の大きさやフォントの種類/色などを設定します。 ツリー展開すると配下に16個分の設定が表示されます。 さらにその配下には時計が使用する配置設定の一覧が表示されます。	18
4	日付	日付表示の大きさやフォントの種類/色などを設定します。 ツリー展開すると配下に16個分の設定が表示されます。 さらにその配下には日付が使用する配置設定の一覧が表示されます。	22
5	静止画	静止画のファイル名を指定します。 ツリー展開すると配下に8個分の設定が表示されます。 さらにその配下には静止画が使用する配置設定の一覧が表示されます。	24
6	アニメーション	アニメーションのファイル名を指定します。 ツリー展開すると配下に16個分の設定が表示されます。 さらにその配下にはアニメーションが使用する配置設定の一覧が表示されます。	24
7	フォント	フォントのファイル名を指定します。 ツリー展開すると配下に32個分の設定が表示されます。 さらにその配下にはフォントが使用する時計/日付設定の一覧が表示されます。	25
8	自動送出設定	外部制御を使用しないで単体によるスケジュール送出をする場合に指定を行います。 平日/土曜/日曜の3パターンに各40イベントを設定することができます。	25
9	本体設定	時刻の表示オフセットや位相調整、外部制御などの指定を行います。	26
10	アプリ設定	マーカーの表示、背景表示などの指定を行います。	28

9. プロパティウィンドウ

画面構成要素ツリーで選択した項目に関する各種設定の内容が表示されます。
左側に項目名、右側に設定内容、下側に項目の説明が表示されます。
右側の設定内容を選択すると項目により様々な設定を行うことができます。
・選択肢からの選択
・数値の入力（スピンボタン使用可能）
・文字の入力
・色の選択
・パスの指定
上部のコンボボックスは要素ごとの設定一覧を表示します。（配置設定の場合は配置一覧です）
ツールバーは、次の機能をもっています。
:閉じている項目を全て展開します
:項目名をアルファベット順に並び替えます
:選択している設定の編集許可/禁止を切り換えます
:選択している設定グループ全体を編集禁止にします
各種設定した時点で即、設定内容がプレビューに反映されます。

9-1. 配置

基本

No.	項目名	内容
1	名称	この配置設定の識別名称を設定します。
2	時計表示	この配置設定で時計を表示するかを選択します。 **選択内容［する：時計を表示します］［しない：時計を表示しません］**
3	日付表示	この配置設定で日付を表示するかを選択します。 **選択内容［する：日付を表示します］［しない：日付を表示しません］** ※「時計表示」をする、および時計の「種別」がアナログ時計の設定を指定している場合は表示されません。
4	静止画表示	この配置設定で静止画を表示するかを選択します。 **選択内容［する：静止画を表示します］［しない：静止画を表示しません］**
5	アニメ表示	この配置設定でアニメーションを表示するかを選択します。 **選択内容［する：アニメーションを表示します］［しない：アニメーションを表示しません］**
6	表示OFFエフェクト	この画面が外部制御によりOFFになるときのエフェクトを選択します。 **選択内容［カット：カットで表示がOFFになります］** **［フェード：フェードアウトします（自動送出や表示強制OFFではフェードしません）］**
7	表示OFFエフェクト期間	上記「表示OFFエフェクト」の期間を設定します。 **設定範囲［1 ～ 30（フレーム）］** この項目は「表示OFFエフェクト」がカットの場合には表示されません。

※ 上記設定に関わらず、上限は本体設定の外部制御「制御待ち時間」になります。

時計(「時計表示」が"しない"のときには表示されません)

No.	項目名	内容
1	種別	この配置設定で使用する時計の種類を選択します。 **選択内容 [時計 01 ～ 16]** 時計に「名称」を設定していれば、「名称」が一覧に表示されます。
2	表示位置	時計を表示する位置の左上の座標を設定します。 **設定範囲 [横 : -1919 ～ 1919 (ピクセル)] [縦 : -1079 ～ 1079 (ピクセル)]**
3	表示優先度	時計表示時の優先度を選択します。 最上位で1番手前に、最下位で1番奥に表示されます。 他要素と同じ優先度の場合は、時計＞日付＞アニメーション＞静止画の順で手前に表示されます。
4	キーレベル	時計のキーレベルを設定します。 **設定範囲 [0 ～ 100 (%)]**
5	表示オフセット	外部制御によりこの画面が表示されてから時計が表示されるまでのオフセットを設定します。 **設定範囲 [0 ～ 3600 (フレーム)]**
6	表示ONエフェクト	この画面が外部制御によりONになるときのエフェクトを選択します。 **選択内容 [カット : カットで表示がONになります]** **[フェード : フェードインします (自動送出や表示強制OFFの解除ではフェードしません)]**
7	表示ONエフェクト 期間	上記「表示ONエフェクト」の期間を設定します。 **設定範囲 [1 ～ 300 (フレーム)]** この項目は「表示ONエフェクト」がカットの場合には表示されません。

日付(「日付表示」が"しない"のときには表示されません)

No.	項目名	内容
1	種別	この配置設定で使用する日付の種類を選択します。 **選択内容 [日付 01 ～ 16]** 日付に「名称」を設定していれば、「名称」が一覧に表示されます。
2	表示位置	日付を表示する位置の左上の座標を設定します。 **設定範囲 [横 : -1919 ～ 1919 (ピクセル)] [縦 : -1079 ～ 1079 (ピクセル)]**
3	表示優先度	日付表示時の優先度を選択します。 最上位で1番手前に、最下位で1番奥に表示されます。 他要素と同じ優先度の場合は、時計＞日付＞アニメーション＞静止画の順で手前に表示されます。
4	キーレベル	日付のキーレベルを設定します。 **設定範囲 [0 ～ 100 (%)]**
5	表示オフセット	外部制御によりこの画面が表示されてから日付が表示されるまでのオフセットを設定します。 **設定範囲 [0 ～ 3600 (フレーム)]**
6	表示ONエフェクト	この画面が外部制御によりONになるときのエフェクトを選択します。 **選択内容 [カット : カットで表示がONになります]** **[フェード : フェードインします (自動送出や表示強制OFFの解除ではフェードしません)]**
7	表示ONエフェクト 期間	上記「表示ONエフェクト」の期間を設定します。 **設定範囲 : [1 ～ 300 (フレーム)]** この項目は「表示ONエフェクト」がカットの場合には表示されません。

静止画(「静止画表示」が"しない"のときには表示されません)

No.	項目名	内容
1	種別	この配置設定で使用する静止画の種類を選択します。 **選択範囲 [静止画 01 ～ 16]** 静止画に「名称」を設定していれば、「名称」が一覧に表示されます。
2	表示位置	静止画を表示する位置の左上の座標を設定します。 **設定範囲 [横 : -1919 ～ 1919 (ピクセル)] [縦 : -1079 ～ 1079 (ピクセル)]**
3	表示優先度	静止画表示時の優先度を選択します。 最上位で1番手前に、最下位で1番奥に表示されます。 他要素と同じ優先度の場合は、時計＞日付＞アニメーション＞静止画の順で手前に表示されます。
4	キーレベル	静止画のキーレベルを指定します。 **設定範囲 [0 ～ 100 (%)]**
5	表示オフセット	外部制御によりこの画面が表示されてから静止画が表示されるまでのオフセットを設定します。 **設定範囲 [0 ～ 3600 (フレーム)]**
6	表示ONエフェクト	この画面が外部制御によりONになるときのエフェクトを選択します。 **選択内容 [カット : カットで表示がONになります]** **[フェード : フェードインします (自動送出や表示強制OFFの解除ではフェードしません)]**
7	表示ONエフェクト 期間	上記「表示ONエフェクト」の期間を設定します。 **設定範囲 [1 ～ 300 (フレーム)]** この項目は「表示ONエフェクト」がカットの場合には表示されません。

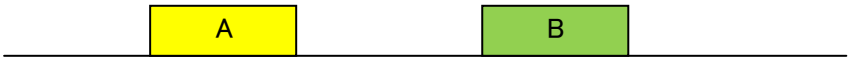
アニメーション(「アニメ表示」が"しない"のときには表示されません)

No.	項目名	内容
1	種別	この配置設定で使用するアニメーションの種類を選択します。**選択範囲 [アニメーション 01 ～ 16]** アニメーションに「名称」を設定していれば、「名称」が一覧に表示されます。
2	表示位置	アニメーションを表示する位置の左上の座標を設定します。 **設定範囲 [横 : -1919 ～ 1919 (ピクセル)] [縦 : -1079 ～ 1079 (ピクセル)]**
3	表示優先度	アニメーション表示時の優先度を選択します。 最上位で1番手前に、最下位で1番奥に表示されます。 他要素と同じ優先度の場合は、時計＞日付＞アニメーション＞静止画の順で手前に表示されます。
4	キーレベル	アニメーションのキーレベルを設定します。 **設定範囲 [0 ～ 100 (%)]**
5	表示オフセット	外部制御によりこの画面が表示されてからアニメーションが表示されるまでのオフセットを設定します。 **設定範囲 [0 ～ 3600 (フレーム)]**
6	表示ONエフェクト	この画面が外部制御によりONになるときのエフェクトを選択します。 **選択内容 [カット : カットで表示がONになります]** **[フェード : フェードインします (自動送出や表示強制OFFの解除ではフェードしません)]**
7	表示ONエフェクト期間	上記「表示ONエフェクト」の期間を指定します。 **設定範囲 [1 ～ 300 (フレーム)]** この項目は「表示ONエフェクト」がカットの場合には表示されません。
8	自動再生	画面表示時、アニメーションを自動的に再生するかを指定します。 **選択内容 [する : 自動再生を行います] [しない : 自動再生をせず外部制御で再生を行います]**
9	自動再生オフセット	画面が表示されてからアニメーションが自動再生されるまでのオフセットを設定します。 **設定範囲 [0 ～ 4000 (フレーム)]** オフセットの起点はアニメーションが表示されてからではなく、画面が表示されてからになります。 この項目は、「自動再生」がしないの場合、表示されません。
10	再生開始フレーム番号	アニメーションの再生を開始するフレーム番号を設定します。 **設定範囲 [0 ～ 2047 (フレーム)]** 登録したアニメーションの一部のみを再生する場合に調整します。 **※注意「再生終了フレーム」や、登録したアニメーションの長さより大きいフレーム番号は指定できません。**
11	再生終了フレーム番号	アニメーションの、再生を終了するフレーム番号を設定します。 **設定範囲 [0 ～ 2047 (フレーム)]** 登録したアニメーションの一部のみを再生する場合に調整します。 **※注意「再生開始フレーム」より小さいフレーム番号は指定できません。**
12	再生終了後フリーズ	アニメーション再生終了後、最終フレームを表示したままにするかを選択します。 **選択内容 [ON : 再生終了後、最終フレームを表示したままにします、** **[OFF : 再生終了後、アニメーションの表示をOFFにします]**
13	全体ループ	アニメーションの全体的なループ(リピート)を選択します。 **選択内容 [ON : 全体ループを行う] [OFF : 全体ループを行わない]** ○ループ回数 … アニメーションの全体的なループ(リピート)を設定します。 **設定範囲 [0 ～ 300 (回数)]**
14	カスタムイベントA～J	アニメーションのカスタムイベントを設定します。 現在、部分ループ(A-Bリピート)とポーズを指定できます。A～Jまでの10箇所を割り当て可能です。 **選択内容 [部分ループ : 部分ループを行います] [ポーズ:ポーズを行います] [なし:指定しません]** 部分ループ:終了フレーム(B点)に達した際、開始フレーム(A点)へ規定回数リピートします。 ○回数 … 部分ループのループ回数を指定します。0を指定すると、無限ループします。 **設定範囲 [0 ～ 300 (回数)]** ○開始フレーム番号 … 部分ループの開始点(A点)を指定します。 **設定範囲 [0 ～ 2047 (フレーム)]** **※注意「ループ終了フレーム」や、登録したアニメーションの長さより大きいフレーム番号は指定できません。** ○ループ終了フレーム番号 … 部分ループの終了点(B点)を指定します。 **設定範囲 [0 ～ 2047 (フレーム)]** **※注意「ループ開始フレーム」より小さいフレーム番号は指定できません。** ポーズ 指定した時間だけアニメーションが一時停止します。 ○フレーム番号 … 一時停止するフレーム番号を指定します。 **設定範囲 [0 ～ 2047 (フレーム)]** **※注意「ループ終了フレーム」や、登録したアニメーションの長さより大きいフレーム番号は指定できません。**

		○時間 … 一時停止する時間をフレーム単位で指定します。0を指定すると、無限ループします。 **設定範囲 [0 ～ 300 (フレーム)]**
15	プレビュー表示フレーム	アプリケーションのパターンプレビュー上に表示するフレーム番号を指定します。 **設定範囲 [0 ～ 2047 (フレーム)]** TLG-70Vの動作には一切影響はありません。

複数の部分ループが存在している場合の動作パターンは次の通りです。

・AとBが独立

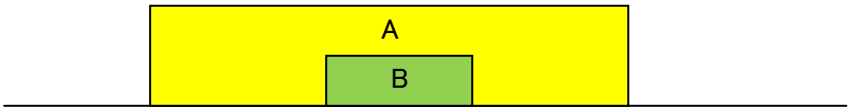


Aを指定回数ループしたあと、Bを指定回数ループします。

・ループAの終点とループBの始点が同一

Aを指定回数ループしたあと、Bを指定回数ループします。

・ループAの中にループB

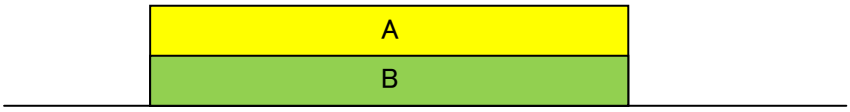


まずBを指定回数ループしたあと、Aを指定回数ループします。(その際Bは再度指定回数ループ)

・ループAの途中にループB始点

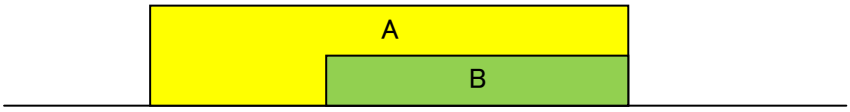
Aを指定回数ループしたあと、Bを指定回数ループします。

・ループAとループBが同一



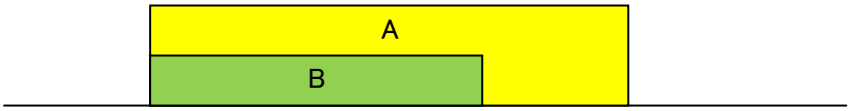
AとBの指定回数を合算した回数だけループします。

・ループAとループBの終点が同一



まずAを指定回数ループ(その際Bループはなし)したあと、Bを指定回数ループします。

・ループAとループBの始点が同一



まずBを指定回数ループしたあと、Aを指定回数ループします。(その際Bは再度指定回数ループ)

9-2. 時計

時計パーツの設定項目は大きく次の3つがあります。

No.	項目名	内容
1	基本	時計の基本事項を設定します。
2	文字	種別がデジタル時計/タイマーの時に表示される項目です。 文字の詳細事項を設定します。文字の詳細事項については「文字」欄を参照ください。
3	デジタル時計 アナログ時計 タイマー	指定した種類の時計に関する詳細事項を設定します。 各詳細事項については「デジタル時計」「アナログ時計」「タイマー」を参照ください。

○基本

No.	項目名	内容
1	有効/無効	この時計設定を使用するかを指定します。 無効にすると、設定内容に関わらずこの時計設定は使用されなくなります。
2	名称	この時計設定の識別名称を設定します。
3	種別	この時計のタイプを指定します。 **選択内容 [デジタル時計 ： 現在時刻を数字で表示します]** **[アナログ時計 ： 現在時刻を長針、短針、文字盤で表示します]** **[タイマー ： 現在時刻から指定時刻までの時差を表示します]**

○文字

No.	項目名	内容
1	区切り文字 詳細設定	コロン等の区切り部分に関する文字の詳細設定を行うかを選択します。 **選択内容 [有効 ： フォント、サイズ、長体率、斜体率、文字間隔、エッジを設定可能にします]** **[無効 ： 文字間隔のみを設定可能にします。その他は数字部分と共通の設定になります]**
2	フォント	文字に関する詳細事項を設定します。 文字の詳細事項については「文字-フォント」欄を参照ください。
3	区切り文字	区切り文字に関する詳細事項を設定します。 区切り文字の詳細事項については「文字-区切り文字」欄を参照ください。

○文字-フォント

No.	項目名	内容
1	フォント	使用する文字のフォントの種類を選択します。 **選択範囲 [フォント 01 ～ 32]**
2	サイズ	文字のサイズを級数で指定します。 **設定範囲 [10 ～ 100(級)]**
3	長体平体率	文字の長体/平体率を指定します。 **設定範囲 平体率 [-50 ～ 0(%)] 長体率 [0 ～ 50(%)]**
4	斜体率	文字の斜体率を指定します。 **設定範囲 [0 ～ 60(%)]**
5	文字間隔	文字間隔を指定します。 **設定範囲 [-50 ～ 50(ドット)]**
6	色(LSH)	文字の色をLSH(輝度、彩度、色相)で指定します。右側の▼ボタンから設定をクリックすると色選択ダイアログが表示され、詳細な色設定を行う事ができます。 **設定範囲 [輝度(L):0 ～ 110(%)] [彩度(S):0 ～ 100(%)] [色相(H):0 ～ 359(°)]**
7	エッジ表示	エッジの表示を選択します。 **選択内容 [する:エッジを表示します] [しない:エッジの表示を行いません]**
8	エッジ	エッジに関する詳細事項を設定します。 ○質感 … エッジの質感を選択します。 **選択内容 [ハード：ハードエッジを表示します] [ソフト：ソフトエッジを表示します]** ○幅 … エッジの幅を設定します。 **設定範囲 [1 ～ 10(ドット)]**

		○色 … エッジの色を設定します。(設定方法は文字-フォントの色と同じです) **設定範囲 [輝度(L):0 ～ 110(%)] [彩度(S):0 ～ 100(%)] [色相(H):0 ～ 359(°)]**

○文字-区切り文字

コロンなどの区切り部分の文字に関する各種設定をします。

No.	項目名	内容
1	フォント	使用する文字のフォントの種類を選択します。 **選択範囲 [フォント01 ～ 32]**
2	サイズ	文字のサイズを級数で設定します。 **設定範囲 [10 ～ 100(級)]** **※注意 数字部分の文字サイズより大きいサイズには設定できません。**
3	長体平体率	文字の長体/平体率を設定します。 **設定範囲 平体率 [-50 ～ 0(%)] 長体率 [0 ～ 50(%)]**
4	斜体率	文字の斜体率を設定します。 **設定範囲 [0 ～ 60(%)]**
5	文字間隔	文字間隔を設定します。 **設定範囲 [-100 ～ 100(ドット)]**
	位置	区切り文字の配置を選択します。 **選択内容 [上 : 数字部分と上揃えで表示します]** **[下 : 数字部分と下揃えで表示します]** **[中央 : センタリングで表示します]**
7	エッジ表示	エッジの表示を選択します。 **選択内容 [する : エッジを表示します] [しない : エッジの表示を行いません]**
8	エッジ	エッジに関する詳細事項を設定します。 ○質感 … エッジの質感を選択します。 **選択内容 [ハード : ハードエッジを表示します] [ソフト : ソフトエッジを表示します]** ○幅 … エッジの幅を設定します。 **設定範囲 [1 ～ 10(ドット)]**

○デジタル時計(種別がデジタル時計のとき表示されます)

No.	項目名	内容
1	分エフェクト	分が変化する際のエフェクトを選択します。 **選択内容 [カット : カットで切り替わります]** **[ディゾルヴ : クロスフェードで切り替わります]** **[横回転 : 数字部分が横回転し、新しい数字が現れます]** **[縦回転 : 数字部分が縦回転し、新しい数字が現れます]** **※注意 本体設定の「制御方式」(P-26)がネクストスタンバイ以外のとき、時計設定1～4以外で横/縦回転を指定するとエフェクトが無効となります。**
2	秒エフェクト	秒が変化する際のエフェクトを選択します。 **選択内容 [なし : 秒エフェクトを行いません。]** **[秒時計↑ : 文字/エッジの色が下から上に変化します]** **[秒時計↓ : 文字/エッジの色が上から下に変化します]** 秒エフェクトが秒時計の場合、次の設定を行います。 ○文字-変化色(LSH) 文字の変化色をLSH(輝度、彩度、色相)として設定します。(設定方法は文字-フォントの色と同じです) **設定範囲 [輝度(L):0 ～ 110(%)] [彩度(S):0 ～ 100(%)] [色相(H):0 ～ 359(°)]** ○エッジ-変化色(LSH) エッジの変化色をLSH(輝度、彩度、色相)として設定します。(設定方法は文字-フォントの色と同じです) **設定範囲 [輝度(L):0 ～ 110(%)] [彩度(S):0 ～ 100(%)] [色相(H):0 ～ 359(°)]**
3	表示書式	時計表示の書式を選択します。書式の一覧は次の通りです。 **hh : MM** / **hh, MM** / **hh MM** / **hh時MM分** / **hh時mm分** **hh : MM : SS** / **hh : MM, SS** / **hh, MM, SS** / **hh MM SS** / **hh時MM分SS秒** H : 時、M : 分、S : 秒を意味します。 アルファベットの小文字は先頭の0を表示しません。 分エフェクトがカットの時のみ秒まで表示します。 ディゾルヴ、横/縦回転は秒までの表示が指定されていても分までの表示となります。
4	時間制	時間表示の制度を選択します。 **選択内容 [12時間制 : 午前と午後を0～12時と表示します]** **[24時間制 : 午後を12～23時と表示します]** **[30時間制 : 0～5時を24～29時と表記します]** 12時間制を指定した場合、さらに次の項目を選択できます。 ○0時の表示 … 午前0時の表示を選択します。 **選択内容 [0時 : 午前0時を"0時"台として表示します]** **[12時 : 午前0時を"12時"台として表示します]**

		○12時の表示 … 正午の表記を選択します。 **選択内容 [0時 : 正午を"0時"台として表示します]** **[12時 : 正午を"12時"台として表示します]**

○タイマー(種別がタイマーのとき表示されます)

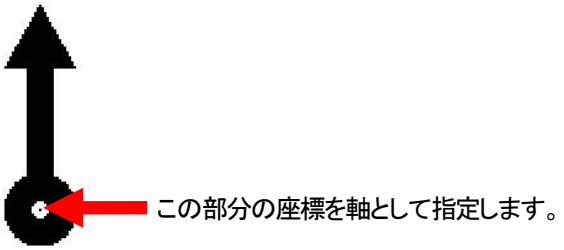
No.	項目名	内容
1	日数	タイマーが日数の概念を扱うかを選択します。 **選択内容 [有効 : 日数を使用します。指定時間/桁表示に"日"を追加します/** **[無効 : 日数を使用しません]**
2	区切り文字 日本語	区切り文字に日本語を使用するかを選択します。 **選択内容 [ON : 日本語を使用します"○○時間○○分○○秒"]** **[OFF : 日本語を使用しません"○○ : ○○ : ○○"]** **※注意 初期のフォントでは「間」という文字を表示できません。** **区切り文字に日本語を使用する場合は、必ず外部フォントを指定してください。**
3	桁表示	タイマーの各種表示のON/OFFを設定します。(ONで表示する、OFFで表示しません) **日 … "日"の桁を表示するかを指定します。** **時 … "時" の桁を表示するかを指定します。** **分 … "分" の桁を表示するかを指定します。** **秒 … "秒" の桁を表示するかを指定します。** **※注意 上位の桁表示が全てOFFの場合、表示が詰まります。**
4	ゼロサプレス	タイマーの各種表示のゼロサプレスON/OFFを設定します。 (ONでゼロサプレスする、OFFでゼロサプレスしません) **時 … "時" をゼロサプレスするかを指定します。** **分 … "分" をゼロサプレスするかを指定します。** **秒 … "秒" をゼロサプレスするかを指定します。**
5	カウントダウン	指定時間へのカウントダウンを行うかを選択します。 **選択内容 [有効 : カウントダウンをします]** **[無効 : カウントダウンはせず、指定時間経過前のタイマーは表示しません]**
6	カウントアップ	指定時間へのカウントアップを行うかを選択します。 **選択内容 [有効 : カウントアップをします]** **[無効 : カウントアップはせず、指定時間経過後のタイマーは表示しません]**
7	ゼロ表示	指定時間到達時のゼロ(0)を表示するかを選択します。 **選択内容 [ON : ゼロを表示します] [OFF : ゼロを表示しません]** **※注意 カウントダウン/カウントアップが両方とも有効の場合はゼロ表示を行います。**
8	自動マスク (将来対応予定)	上位の桁が0になった場合、自動的にマスクをするかを選択します。 **選択内容 [ON : 自動マスクをします] [OFF : 自動マスクをしません]** **※注意 自動マスクでは表示が詰まることがありません。**
9	指定時間	各種時間を設定します。 ○基準年月日 … タイマーの基準年月日を設定します。「日数」が有効の場合に表示されます。 **設定範囲 [年 : 2000 ～ 2099 (年)] [月 : 1 ～ 12 (月)] [日 : 1 ～ 31 (日)]** **※注意 組み合わせ上存在しない日付(2月30日等)を入力しても、日数計算は行われます。** ○基準時刻 … タイマーの基準時刻を設定します。 **設定範囲 [時 : 0 ～ 23 (時)] [分 : 0 ～ 59 (分)] [秒 : 0 ～ 59 (秒)]**

○アナログ時計 (種別がアナログのとき表示されます)

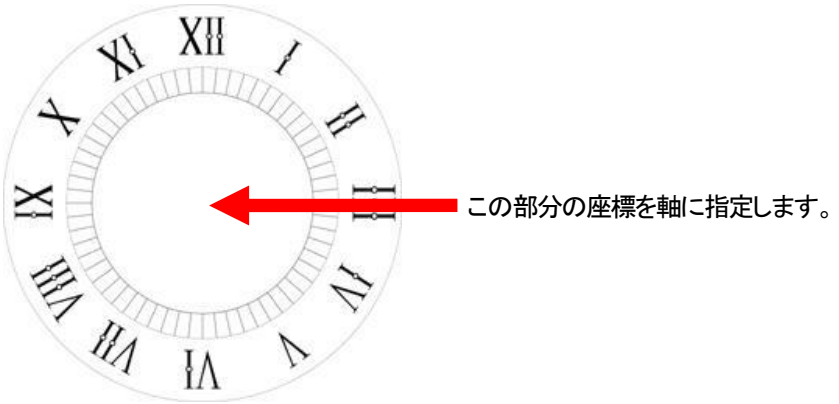
No.	項目名	内容
1	針画像 キーレベル	アナログ時計の長針/短針部分のキーレベルを指定します。 **設定範囲 [0 ～ 100 (%)]**
2	文字盤 キーレベル	アナログ時計の文字盤部分のキーレベルを指定します。 **設定範囲 [0 ～ 100 (%)]**
3	短針	短針画像のファイル名を指定します。右側の「…」は、参照ボタンです。 ファイルが指定されると指定フォルダーへ自動的にコピーされ、「軸位置」が設定されます。 (横 : 画像幅の半分、縦 : 画像高さの9割) ・対応する画像ファイル形式の詳細についてはP-2を参照ください。 ・画像サイズは横 : 32、縦 : 160 (ピクセル)以内にしてください。 ・ファイル名部分を空にした場合、短針画像は削除されます。 ○軸位置 …短針画像の軸位置を座標で設定します。 **設定範囲 [横位置: 0 ～ 31 (ドット)] [縦位置 : 0 ～ 159 (ドット)]**

4	長針	長針画像のファイル名を指定します。右側の「…」は、参照ボタンです。 ファイルが選択されると指定フォルダーへ自動的にコピーされ、「軸位置」が設定されます。 （横 ： 画像幅の半分、縦 ： 画像高さの9割） ・対応する画像ファイル形式の詳細についてはP-2を参照ください。 ・画像サイズは横：32、縦：160（ピクセル）以内にしてください。 ・ファイル名部分を空にした場合、長針画像は削除されます。 〇軸位置 … 長針画像の軸位置を座標で設定します。 **設定範囲 [横位置: 0 ～ 31（ドット）] [縦位置：0 ～ 159（ドット）]**
5	文字盤	文字盤画像のファイル名を指定します。右側の「…」は、参照ボタンです。 ファイルが選択されると指定フォルダーへ自動的にコピーされ、「軸位置」が設定されます。 （横 ： 画像幅の半分、縦 ： 画像高さの半分） ・対応する画像ファイル形式の詳細についてはP-2を参照ください。 ・画像サイズは横：512、縦：256（ピクセル）以内にしてください。 ・ファイル名部分を空にした場合、文字盤は削除されます。 〇軸位置 … 文字盤画像の軸位置を座標で設定します。 **設定範囲 [横位置: 0 ～ 511（ドット）] [縦位置：0 ～ 255（ドット）]**

短針/長針画像の軸位置の基準は次のとおりです。



文字盤画像の軸位置の基準は次のとおりです。



9-3. 日付

○基本

No.	項目名	内容
1	有効/無効	この日付設定を使用するかを選択します。 無効にすると、設定内容に関わらずこの日付設定は使用されなくなります。
2	名称	この日付設定の識別名称を設定します。

○文字

No.	項目名	内容
1	区切り文字 詳細設定	ピリオド等の区切り部分に関する文字の詳細設定を行うかを選択します。 **選択内容 [有効 ： フォント、サイズ、長体率、斜体率、文字間隔、エッジを設定可能にします]** **[無効 ： 文字間隔のみを設定可能にします。その他は数字部分と共通の設定になります]**
2	フォント	文字に関する詳細事項を設定します。 文字の詳細事項については「文字-フォント」欄を参照ください。
3	区切り文字	区切り文字に関する詳細事項を設定します。 区切り文字の詳細事項については「文字-区切り文字」欄を参照ください。
4	カレンダー	カレンダーに関する詳細事項を設定します。

○文字-フォント

No.	項目名	内容
1	フォント	使用する文字のフォントの種類を選択します。 **選択範囲 [フォント 01 ～ 32]**
2	サイズ	文字のサイズを級数で設定します。 **設定範囲 [10 ～ 100(級)]**
3	長体平体率	文字の長体/平体率を設定します。 **設定範囲 平体率 [-50 ～ 0(%)] 長体率 [0 ～ 50(%)]**
4	斜体率	文字の斜体率を設定します。 **設定範囲 [0 ～ 60(%)]**
5	文字間隔	文字間隔を設定します。 **設定範囲 [-50 ～ 50(ドット)]**
6	色(LSH)	文字の色をLSH(輝度、彩度、色相)で設定します。右側の▼ボタンから設定をクリックすると色選択ダイアログが表示され、詳細な色設定を行う事ができます。 **設定範囲 [輝度(L):0 ～ 110(%)] [彩度(S):0 ～ 100(%)] [色相(H):0 ～ 359(°)]**
7	エッジ表示	エッジの表示を選択します。 **選択内容 [する ： エッジを表示します] [しない ： エッジの表示を行いません]**
8	エッジ	エッジに関する詳細事項を指定します。 ○質感 … エッジの質感を選択します。 **選択内容 [ハード：ハードエッジを表示します] [ソフト：ソフトエッジを表示します]** ○幅 … エッジの幅を設定します。 **設定範囲 [1 ～ 10(ドット)]** ○色 … エッジの色を設定します。(設定方法は文字-フォントの色と同じです) **設定範囲 [輝度(L):0 ～ 110(%)] [彩度(S):0 ～ 100(%)] [色相(H):0 ～ 359(°)]**

○文字-区切り文字

コロンなどの区切り部分の文字に関する各種設定をします。

No.	項目名	内容
1	フォント	使用する文字のフォントの種類を選択します。 **選択範囲 [フォント01 ～ 32]**
2	サイズ	文字のサイズを級数で設定します。 **設定範囲 [10 ～ 100(級)]** **※注意 数字部分の文字サイズより大きいサイズには設定できません。**
3	長体平体率	文字の長体/平体率を設定します。 **設定範囲 平体率 [-50 ～ 0(%)] 長体率 [0 ～ 50(%)]**
4	斜体率	文字の斜体率を設定します。 **設定範囲 [0 ～ 60(%)]**

5	文字間隔	文字間隔を設定します。 **設定範囲 [-100 ～ 100(ドット)]**
	位置	区切り文字の配置を選択します。 **選択内容 [上 : 数字部分と上揃えで表示します]** **[下 : 数字部分と下揃えで表示します]** **[中央 : センタリングで表示します]**
7	エッジ表示	エッジの表示を選択します。 **選択内容 [する : エッジを表示します] [しない : エッジの表示を行いません]**
8	エッジ	エッジに関する詳細事項を指定します。 ○質感 … エッジの質感を選択します。 **選択内容 [ハード : ハードエッジを表示します] [ソフト : ソフトエッジを表示します]** ○幅 … エッジの幅を設定します。 **設定範囲 [1 ～ 10(ドット)]**

○文字-区切り文字

コロンなどの区切り部分の文字に関する各種設定をします。

No.	項目名	内容
1	カレンダー	時計表示の書式を選択します。書式の一覧は次の通りです。

YYYY年mm月dd日	mm月dd日(WWW)	mm月dd日(WW)	YYYY年mm月dd日(WWW)
YYYY年mm月dd日(WW)	mm月dd日	mm. dd	yyyy. mm. dd
yyyy. mm. dd(WWW)	YY. mm. dd	YY. mm. dd(WWW)	dd(WWW)
dd(WW)			

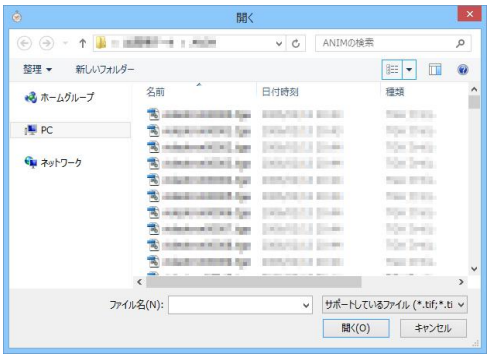
Y:年、M:月、D:日、W:週を意味します。Wの2文字は漢字での曜日表記、3文字は英語での曜日表記となります。
アルファベットの小文字は、先頭の0を表示しません。
アルファベットの文字数は、桁数を意味します。

9-4. 静止画

○基本

No.	項目名	内容
1	有効/無効	この静止画設定を使用するかを選択します。 無効にすると、設定内容に関わらずこの静止画設定は使用されなくなります。
2	名称	この静止画設定の識別名称を設定します。

○表示

No.	項目名	内容
1	ファイル名	静止画のファイル名を設定します。右側の「…」は、参照ボタンです。 このボタンをクリックするとファイル選択ダイアログが表示され、任意のファイルを選択できます。  ファイルが選択されると指定フォルダーへ自動的にコピーされます。 ・対応する画像ファイル形式の詳細はP-2を参照ください。 ・画像サイズは横：1920、縦：1080(ピクセル)以内にしてください。 ・ファイル名部分を空にした場合、画像は削除されます。

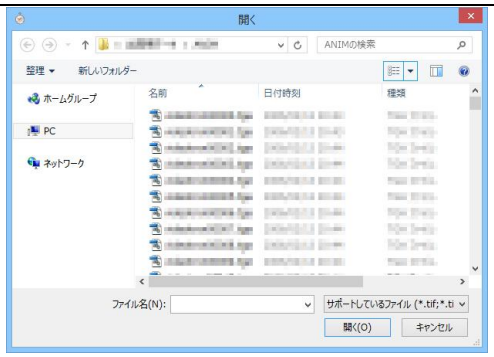
9-5. アニメーション

○基本

No.	項目名	内容
1	有効/無効	このアニメーション設定を使用するかを選択します。 無効にすると、設定内容に関わらずこのアニメーション設定は使用されなくなります。
2	名称	このアニメーション設定の識別名称を設定します。
3	登録モード	登録するアニメーションのサイズを設定します。 モードによって登録可能なフレーム数が変化します。 ○通常 … 512(H) × 512(V) を上限として登録します。 ○横1/2 … 256(H) × 512(V) を上限として登録します。 ○縦1/2 … 512(H) × 256(V) を上限として登録します。 ○縦横1/2 … 256(H) × 256(V) を上限として登録します。 **※注意 登録モードを変更するためには、このプリセットに登録されているアニメーションを一旦削除する必要があります。**
4	登録可能フレーム数	このアニメーション設定に登録可能なフレーム数が表示されます。値を変更することはできません。

○表示

No.	項目名	内容
1	ファイル名	アニメーションの連番ファイル名の先頭を設定します。右側の「…」は、参照ボタンです。 このボタンをクリックするとファイル選択ダイアログが表示され、任意のファイルを選択できます。

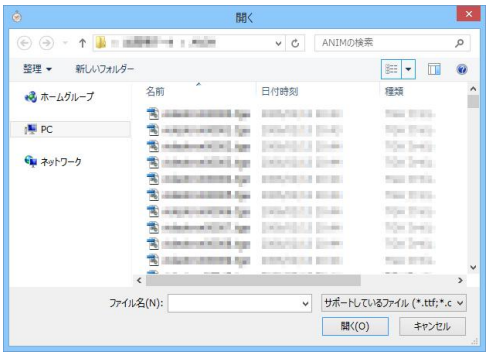
		 ファイルが選択されると関連する連番ファイルが指定フォルダーへ自動的にコピーされます。 ・対応する画像ファイル形式の詳細はP-2を参照ください。 ・画像解像度は統一してください。(512(H) × 512(V)まで) ・ファイル名部分を空にした場合、アニメーションは削除されます。 〇長さ … 登録したアニメーションの総フレーム数が表示されます。値を変更することはできません。 〇プレビュー表示フレーム … 要素プレビューに表示するアニメーションのフレーム番号を設定します。 この指定はTLG-70Vの動作には影響はありません。 **設定範囲 [0 ～ 2047(フレーム)]**

9-6. フォント

〇基本

No.	項目名	内容
1	有効/無効	このフォント設定を使用するかを選択します。 無効にすると、設定内容に関わらずこのフォント設定は使用されなくなります。
2	名称	このフォント設定の識別名称を設定します。

〇表示

No.	項目名	内容
1	ファイル名	フォントのファイル名を設定します。右側の「…」は、参照ボタンです。 このボタンをクリックするとファイル選択ダイアログが表示され、任意のファイルを選択できます。  ファイルが選択されると指定のフォルダーへ自動的にコピーされます。 ・対応フォント形式は8MB以内の和文のTrueType(*.ttf)となります ・ファイル名部分を空にした場合、フォントは削除されます。

9-7. 自動送出設定

自動送出設定は月～金曜日/土曜日/日曜日の3グループがあり、それぞれ40個のイベントを組むことができます。自動送出設定を使用した運用は本体設定の「制御方式」にて自動送出を選択する必要があります。

送出開始時刻から送出終了時刻までの間、指定した画面(配置設定)を送出します。

どの自動送出設定にも属さない時間は何も送出しません。

複数のイベントが送出時間に含まれる場合、一番大きいイベント番号の画面が送出されます。

また自動送出モード中は配置設定の選択による追従を行いません。

〇基本

No.	項目名	内容
1	有効/無効	この自動送出設定を使用するかを選択します。 無効にすると、設定内容に関わらずこの自動送出設定は使用されなくなります。
2	名称	この自動送出設定の識別名称を設定します。
3	送出画面番号	この自動送出設定で使用する画面(配置設定)を選択します。 **選択範囲 [画面01 ～ 32]** 配置設定に「名称」を設定している場合、その名称が一覧に表示されます。
4	送出開始時刻	この自動送出設定の映像送出を開始する時刻を指定します。 **設定範囲 [時 :0 ～ 23(時)] [分 :0 ～ 59(分)] [秒 :0 ～ 59(秒)]**
5	送出終了時刻	この自動送出設定の映像送出を終了する時刻を指定します。 **設定範囲 [時 :0 ～ 23(時)] [分 :0 ～ 59(分)] [秒 :0 ～ 59(秒)]**

※注意 送出開始時刻を送出終了時刻より先の時刻に設定した場合、そのイベントは無効となります。
（送出終了時刻"00:00:00"を除く）

9-8. 本体設定

○基本

No.	項目名	内容
1	OUT2出力	TLG-70V OUT2の出力内容を選択します。 **選択内容 [共通 : OUT1と同一内容を出力する]** **[独立 : OUT1から時計と日付、OUT2から静止画とアニメーションを出力する]** **※注意 独立モードはOUT2用の配置設定が追加され、外部制御も独立します。**
2	テストモード	テストモードを使用するかを選択します。 **選択内容 [ON : テストモードを使用します。時刻の進みが10秒間でカウントアップします]** **[OFF : テストモードを使用しません]** **※注意 テストモード中にパターンチェンジや設定の変更を行うと、最初の1分間は正しく エフェクトしない場合があります。**
3	名称	端末の識別名称を設定します。 設定した名称は接続時の名称一覧や画面構成要素ツリーのルートに表示されます。

○オフセット

No.	項目名	内容
1	出力位相	ゲンロックの調整を行います。 **設定範囲 [H:-1100 ～ 1100(ドット)] [V:-10 ～ 10(ライン)]**
2	時刻	表示時刻のオフセットを指定します。プラスの値が早まる方向になります。 **設定範囲 [-180 ～ 180(フレーム)]**
3	分エフェクト	ディゾルヴ/回転エフェクトの開始時間を遅らせる方向で調整を行います。 **設定範囲 [0 ～ 30(フレーム)]**

○外部制御

No.	項目名	内容
1	制御方式	TLG-70Vの外部制御モードを選択します。 ○ネクストスタンバイ … 指定した画面をスタンバイ(レンダリング)し、テイクでパターンチェンジを行います。使用する時計の設定などにより、スタンバイが2 ～ 300フレームかかります。 ○ダイレクト選択 … バックグラウンドで常に全設定のレンダリングを行います。※ ○自動送出 … TLG-70V本体の自動送出設定(P-26)を使用します。※ ○レベル送出…エンコードビットパターンが変化した時点から指定フレーム経過ののち画面切り替えを行います。テイクは不要です。※ **※注意 スタンバイ待ちはありませんが、使用するエフェクトに制限があります。** **(回転エフェクトを行えるのが、時計01～04の4つに制限されます)**
2	制御待ち時間	テイクから実際にパターンチェンジを行うまでの待ち時間を設定します。 **設定範囲 [10 ～ 30(フレーム)]**

○入力

No.	項目名	内容
1	ピンXX	P-INコネクターのXX(1～11)番ピンに対する機能を割り当てます。 **選択内容** **[未使用 : 使用しません]** **[画面番号セット ビットX : パターンチェンジを行うための画面番号のビットX(0～4)です]** **[テイク : パターンチェンジを行います]** **[ダイレクト送出 画面XX : 画面番号XXのセットとテイクを同時に行います(「制御方式」ダイレクト選択時のみ表示)]** **[表示強制OFF XXXX : 指定パーツの出力を強制的にOFFにします]** **[T : 時計] [D : 日付] [L : 静止画] [A : アニメーション]** **[アニメーション開始 : アニメーションを再生します]** **[アニメーション停止 : 再生中のアニメーションを停止します。停止中のアニメーション停止はアニメーションの頭出しを行います]**

○出力

No.	項目名	内容
1	ピンXX	P-OUTコネクターのXX(1～9)番ピンに対する機能を割り当てます。 **選択内容** **[未使用 : 使用しません]**

		[送出中画面番号セット ビットX ： 現在表示中の画面番号のビットX(0～4)です] [ネクスト画面番号セット ビットX ： ネクストに指定されている画面番号のビットX(0～4)です(「制御方式」ネクストスタンバイ時のみ表示)] [表示中(AND) XXXX ： 指定パーツのすべての出力がON(AND論理)のとき有効になります] [表示中(OR) XXXX ： 指定パーツのいずれかの出力がON(OR論理)のとき有効になります] [T ： 時計] [D ： 日付] [L ： 静止画] [A ： アニメーション] [スタンバイ完了 ： スタンバイが完了し、テイクを受け付けられる状態のとき有効になります(「制御方式」ネクストスタンバイ時のみ表示)] [アニメーション実行中 ： アニメーションが再生中のとき有効になります] [イベント送出中 ： 自動送出による送出中のとき有効になります(「制御方式」自動送出時のみ表示)]

9-9. アプリ設定

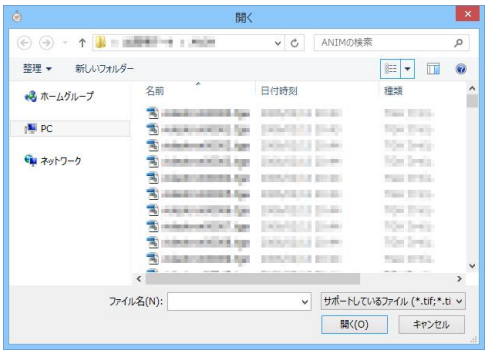
○基本

No.	項目名	内容
1	運針表示モード	プレビュー上の時刻を設定します。 **選択内容 [PC時刻 ： パソコン上の時計と同期します] [固定 ： 指定時刻で固定します]**

○固定時間(この項目は「運針表示モード」が固定のときに表示されます)

No.	項目名	内容
1	年月日	表示する年月日を設定します。 **設定範囲 [年 ： 2000 ～ 2099(年)] [月 ： 1 ～ 12(月)] [日 ： 1 ～ 31(日)]**
2	時刻	表示する時刻を設定します。 **設定範囲 [時 ： 0 ～ 23(時)] [分 ： 0 ～ 59(分)] [秒 ： 0 ～ 59秒]**

○背景

No.	項目名	内容
1	種別	パターンプレビューの背景を選択します。 **選択内容 [単色 ： 単色背景を表示します] [ファイル ： 静止画ファイルを表示します]**
2	色	背景色を設定します。この項目は「種別」が単色の場合に表示されます。
3	ファイル名	背景静止画のファイル名を設定します。この項目は「種別」がファイルの場合に表示されます。 右側の「…」は、参照ボタンです。 このボタンをクリックするとファイル選択ダイアログが表示され、任意のファイルを選択できます。  ・対応する画像ファイル形式の詳細はP-2を参照ください。 ・画像は横：1920、縦：1080(ピクセル)に自動的にリサイズされます。 ファイルが読み込めなかった場合、黒の単色背景が表示されます。

○マーカー

No.	項目名	内容
1	セーフティー	プレビュー表示におけるセーフティーマーカーを表示します。 **選択内容 [ON ： セーフティーマーカーを表示します] [OFF ： セーフティーマーカーを表示しません]**
2	エリア	プレビュー表示におけるエリアマーカーを表示します。 **選択内容 [ON ： エリアマーカーを表示します] [OFF ： エリアマーカーを表示しません]**
3	センター	プレビュー表示におけるセンターマーカーを表示します。 **選択内容 [ON ： センターマーカーを表示します] [OFF ： センターマーカーを表示しません]**

○セーフティー(この項目は「セーフティー」がONのときに表示されます)

No.	項目名	内容
1	領域	セーフティーマーカーの表示領域を指定します。 **設定範囲 [50 ～ 95(%)]**

6. トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処方法です。（文中の→が対処方法となります）

現 象　TLG-70Vと通信できない。
原 因　・LANケーブルは接続されていますか？
・接続時におけるアクセス許可の選択は正しいですか？
→「2. POWER ONまでの手順」（P-5）

現 象　静止画やアニメーションがプレビューにまったく表示されない。
原 因　・所定のフォルダーに表示したい素材ファイルは存在していますか？
→オプション設定ダイアログ（P-13）
・TLG-70Vから正しく素材をダウンロードしましたか？
→素材選択ダイアログ（P-12）
設定値のみのダウンロードを行った場合、素材ファイルはダウンロードされません。
ダウンロードを中断した場合、それ以降の素材ファイルはダウンロードされません。

現 象　静止画やアニメーションが本体にまったく表示されない。
原 因　・TLG-70Vから正しく素材をアップロードしましたか？
→素材選択ダイアログ（P-12）
設定値のみのアップロードを行った場合、素材ファイルはアップロードされません。
アップロードを中断した場合、それ以降の素材ファイルはアップロードされません。

現 象　アニメーションがいっぱいになり、これ以上登録できなくなってしまった。
原 因　・不要なアニメーションを削除してください。
→アニメーション（P-24）
アニメーションのファイル名を空にすることで、アニメーションを削除することができます。
この操作は、静止画やフォントでも同様です。

現 象　分エフェクトのディゾルヴがカット動作になる。
原 因　本体ソフトバージョン1.11以前は、回転エフェクト同様に時計設定1～4以外の場合は無効となります。
ご使用の本体バージョンをご確認ください。
→スロット選択ダイアログ（P-11）

お問い合わせは、当社までご連絡ください。

本書に記載している商標

Microsoft®、Windows®、および Windows® 7、Windows® 8.1、Windows® 10、Windows® 11 は、Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。

その他本書中に記載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。

無断転写禁止

・本書の著作権はビデオトロン株式会社に帰属します。
・本書に含まれる文書および図版の流用を禁止します。

お問い合わせ

製品に関するお問い合わせは、下記サポートダイヤルにて承ります。

本社営業部/サポートセンター　TEL **042-666-6311**
大　阪　営　業　所　　TEL **06-6195-8741**

ビデオトロン株式会社　E-Mail：sales@videotron.co.jp

本　社　　〒193-0835 東京都八王子市千人町 2-17-16
大阪営業所　〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-8-8 花原第8ビル 5F

ビデオトロンWEBサイト **https://www.videotron.co.jp**

101428R18

本書の内容については、予告なしに変更する事がありますので予めご了承下さい。